

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

議会だより

# 声のかけ橋

第86号

令和6年9月1日発行  
豊後大野市議会

10名の議員が市政を問う 5

モニターアンケートの結果 18

キラリ★一言 20



# 令和6年度一般会計補正予算(第2号)

6億7,005万2千円 **追加** 《一般会計予算総額》 302億2,091万5千円

◆ 7月9日議決 第2号補正予算の一部を紹介

## 企業立地の戦略的プラン策定委託予算化!

★企業誘致の基盤整備を加速化するための  
企業誘致推進プラン策定委託料

660万円



## 定額減税調整給付金事業

★住民税所得割及び所得税の納税者で定額減税しきれないと見込まれる者を対象に、給付金(調整給付)を支給

定額減税調整給付金 **2億4,000万円**

対象者  
6,000人  
\*該当者には  
通知あり

## 三重第一小学校区 児童クラブ施設改修予算化!

★廃園となった旧三重幼稚園舎を改修  
放課後児童クラブ施設整備改修工事請負費

1億3,509万円



旧三重幼稚園舎

## 小規模給水施設整備事業

★公営水道区域外の2地区の飲料用水施設の整備等補助  
緒方町馬背戸地区、炭焼地区

小規模集落等  
水源整備工事請負費 **2,300万円**



施設整備事業の様子

## 園芸産地整備事業

★白ねぎ雑草対策、土づくり対策、気象緊急対策  
対象者 豊後大野市白ねぎ生産組合

短期集中圏域支援品目  
生産拡大推進事業補助金 **758万円**



白ねぎ

## 肉用牛担い手確保総合対策事業

★畜舎の新增築及び改築に対し補助  
対象 朝地町 1ヶ所

肉用牛担い手確保  
総合対策事業補助金 **874万円**



畜舎の様子

## 第2回定例会

第2回定例会は、6月20日～7月9日に次について審議されました。

議会は通常年に4回開催され、6月議会は今年になって2回目の議会なので第2回定例会といえます。条例改正や補正予算の審議等を行いました。閉会日の冒頭に、現在取り組んでいる人口減少対策特別委員会の中間報告をし、残りの議案について慎重に審議し、全ての議案が可決されました。

### 案件(報告含む) 17件

- ・報告 4件
- ・条例一部改正 3件
- ・条例制定 1件
- ・協議 1件
- ・市道路線 廃止 1件
- ・市道路線 認定 1件
- ・工事請負契約 2件
- ・財産の取得 1件
- ・補正予算 3件

### 第2回定例会

#### 議員発議 1件

・豊後大野市議会議員定数  
条例の一部改正について  
**18人を16人に改める。**  
\*次の一般選挙から適用



開会日に上程(議事日程に組み入れて本会議の議案として取り扱う)された案件は18件でした。

低所得者支援及び定額減税補足給付金事業の補正予算第1号は、開会日に承認し、早期事務執行されました。

議員発議の豊後大野市議会議員定数条例の一部改正についても開会日に可決されました。

閉会日に、全ての議案が可決されました。

# 令和6年度一般会計補正予算(第1号)

1億927万円 **追加** 《一般会計予算総額》 295億5,086万3千円

## 低所得者支援給付金事業

★令和6年度に新たに住民税非課税となった世帯や住民税均等割のみ課税となった世帯を対象に、物価高騰による負担を軽減するための給付金を支給  
\*該当者には通知済

1世帯…10万円  
対象…1000世帯  
子ども加算…5万円  
対象…80人

## 工事請負契約の締結について

★令和6年度 ケーブルテレビ通信系設備10G化工事

**5億2,250万円**

契約の相手方 株式会社 九電工 大分支店



ケーブル工事(イメージ)

## 財産の取得

★水槽付消防ポンプ自動車

購入金額: **7,953万円**



水槽付消防ポンプ自動車



# 6月も白熱! 一般質問 という名の 政策提案

10名の議員が登壇

## 川野市政に、ズバッと質問ビシッと提言

6月26日、27日に行われた一般質問には10名の議員が登壇し、自治体DX、労働環境、健康対策、農業振興、人口減少対策など32項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。  
議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しております。また、議員の写真下に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取ることで、一般質問の録画中継をご覧いただけます。

### ●川野 辰徳 (6ページ)

- 行政財産の運用管理について
- 市長の交際費と出張旅費について
- 市職員の定着率について
- 市立図書館の開館日について
- 関係人口交流拠点施設 cocomiについて
- 農業の振興について

### ●高野 辰代 (6ページ)

- 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」を暮らしにいかし育てる取組について
- こども家庭センターきらきらの状況について
- すきま時間で働きたい人と人手不足の現場をつなぐ「業務委託型短時間ワークシェアリング」の取組について

### ●穴見 真児 (6ページ)

- 教職員の労働環境について
- 老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画について

### ●小野 順一 (8ページ)

- 農業振興について
- 鳥獣被害について
- 過疎地域(集落)の防犯対策について

### ●佐藤 昭生 (8ページ)

- 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)の取組について
- 水道事業について
- 児童生徒の視力低下について

### ●工藤 秀典 (8ページ)

- 椎茸原木供給とテントサウナの供給事業について
- 自治公民館の防災の現状と対策について

### ●嶺 英治 (10ページ)

- 本市農政について

### ●衛藤 竜哉 (10ページ)

- デスティネーションキャンペーンの現状と経過について
- 消防体制について
- 給食の賄い等の現状は
- 生活道路の安全性を目指して

### ●春野 慶司 (10ページ)

- 火葬場の残骨灰の売渡しにかかる一般競争入札の導入について
- 企業版ふるさと納税について
- 認知症基本法(共生社会の実現を推進するための認知症基本法)について
- 高齢者の健康対策としての運動機会の増大について
- 人口減少を見据えた旧町村の施設の老朽化に伴う建物の取扱いについて

### ●原田 健蔵 (12ページ)

- 人口減少対策について
- 朝倉文夫記念館について
- 主権者教育について

※一般質問=議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一问一答方式で行っています。

# 一般会計補正予算第2号 議案質疑 一部を 紹介

7月2日に、全ての議案についての質疑がありました。一般会計補正予算について、4名の議員から、11項目の質問通告があり、執行部から説明がありました。一部について要約してお知らせいたします。

- 企業誘致 推進プラン策定**
- 問 具体的な何を策定するのか。  
答 本市が選ばれるために、地域特性の調査、分析をし、優位性を示す。特化したコンサルタントに委託するのかが。  
問 プロポーザル方式で公募する。  
答 プロポーザル方式\*  
\*プロポーザル方式 地方自治体などが業務を外部に委託する際に利用する発注方式
- 問 当初予算にあった、地下水電気探査調査と関連があるのか。  
答 両輪で実施するが、プランは、地下水等の関係ない企業もある。
- 問 プレゼンテーション等のスケジュールは。  
答 公募、選考後、事業を実施し、年内に業務委託を終了させたい。
- 問 プランの期間は。  
答 期間は定めていないが短期的なもの。スピード感をもった事業となる。
- 問 新築するべきと考えられているが、改修に至った経緯は。  
答 建て替え(新築)と解体を合わせた経費が、改修の2倍となる。建物の耐震性はある。
- 問 どのような改修をするのか。  
答 照明LED化、空調設備、トイレ改修、床張り替え、クロス張替等。
- 問 第一小学校の利用は考えられなかったのか。  
答 子どものすみわけが難しい。校舎の管理の問題、利用人数が多い、空き教室の変動等の問題がある。
- 問 改修等の件数は。  
答 20件
- 問 今後改修の希望が増えてくると考えますが、予算についての考えは。  
答 来年度は、希望をとって、新年度予算を編成する予定。

**旧三重幼稚園舎改修**

問 スケジュールは。  
答 今年中に解体し、今年度中に公売予定。

**旧南分署 解体工事請負費**

議案質疑の内容は、豊後大野市議会のホームページ内「議会中継」のページよりご覧いただけます。



▲消防本部旧南分署(緒方町下自在)

**補正第2号は「討論」の後 可決**

**賛成討論の要約**

放課後児童クラブ施設整備改修工事請負費の補正予算について、市長は、子どもや子育てにやさしい環境づくりを施政方針で謳い、持続可能な豊後大野市づくりに繋げていく方策として、なぜ築46年も経過しているのに建て替え(新築)ではなく改築ですすめるのか? 閉会日の前日、子育て支援課、建設課、児童クラブ職員の方立会いのもと、現状と現地の確認をした。

今回の案件は、どうして事前に説明がなかったのか。納得がいく説明がなければ正しい判断はできません。児童の安全を第一に、順調な改修が進み、放課後の児童の居場所が安全で保護者にとっては安心で、学校同様、子どもの輝く居場所であることを切に願う。

**反対討論の要約**

市の財政を考えると、放課後児童クラブ施設整備改修工事について、高額であるので反対。

同僚議員数名と調査。改修箇所、改修工程、児童を受け入れながらの改修工事の安全性、今後の運営の見通し、保護者や児童への配慮、受託者との協議の積み重ね状況などを確認、疑義は払拭できた。

旧三重幼稚園舎(放課後児童クラブ)の改修について早い段階で議会への説明がなぜなかったのか





かわの たつり  
質問者／川野 辰徳 議員  
(無党派)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

問

市立図書館の開館日について

答

市民の学ぶ機会の確保に努める

市民の方から相談があった。12月28日に市立図書館が休館しており利用できず、その方は仕方なく竹田市の図書館を利用されたそう。その方は「なぜ豊後大野市民が竹田市まで行かないといけないのか」と疑問を呈されていた。仕事始めの1月4日も休館していたことも挙げ、「仕事始めの日なのだから開館してほしい」と嘆いておられた。また、祝日を休館してほしい」と嘆くような月もあり、住民サービスが十分ではないとの不満の声も届いている。  
我が豊後大野市の昨年度の開館日を295日と答弁されたが295日間違いはないか。

社会教育課長

295日と県に報告しており、利用者が来館することができた日が278日、特別整理期間や館内整理日として館内環境の整備に充てる日が17日となっている。なお、この17日は利用者は来館ができないが職員が出勤しており、本の問い合わせなどの電話対応は行っている。今後市民のご意見を賜りながら市民の学ぶ機会の確保に努める。



▲ふれあい・学びの杜 豊後大野市図書館



たかの たつよ  
質問者／高野 辰代 議員  
(新国会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

問

共生社会の実現を推進するための認知症基本法の取組は

答

基本理念にのっとった計画を策定

認知症に焦点を当てた初めての法律が1月1日に施行された。「新しい認知症観」当事者参画「認知症バリアフリーの推進」等が必要。現在の啓発の状況と今後の取組は。

高齢者福祉課長

普及啓発や認知症の予防、医療・ケア・介護サービスの関係者による介護者への伴走支援、認知症バリアフリーの推進と若年性認知症の人の支援を実施。今後は、基本法の基本理念にのっとった計画を策定する。

子ども家庭センター  
きらきらの状況は

4月1日から「子ども家庭センターきらきら」がスタートしているが状況は。

子育て支援課長

統括支援員を中心に、様々な支援メニューにつないでいくために幼児教育アドバイザーを配置し、助産師、保健師、虐待対応専門員を配置。居場所型の学習支援事業の取組、スマホの医療相談アプリ「きらきら」いつでも診療所への導入など新たな取組を進めている。

きらきらママー19について説明を。  
子育て支援課長

急な陣痛や夜中に破水した場合などに、消防署が事前に登録した妊婦さんの情報を基にスムーズに医療機関へ搬送するサービス。



▲認知症バリアフリーに関するパンフレット



あなみ しんじ  
質問者／穴見 眞児 議員  
(新国会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

問

教職員の労働環境について

答

労働環境改善に向けた方策に取り組む

時間外労働の実態は。  
令和4年度の月45時間を超える時間外労働があった教職員は17%、令和5年度は14%で3%の減少となっている。

学校教育課長

部活動への教職員の関わりは。  
学校教育課長

部活動の地域移行を積極的に進めている。担当者からは「子どもと向き合う時間が増えた」などの声が上がっており部活動指導の負担を減らすことができている。

改善に向けた今後の取組は。

学校教育課長  
本年度は「ICT環境の充実」に取り組んでいる。今後も労働環境の改善に取り組む。

老人福祉計画及び  
第9期介護保険事業計画について

協議体の設置と今後の取組は。  
高齢者福祉課長

日常生活圏域を市全体で1圏域と設定し、第2層、第3層及び第4層協議体等にも働きかけを行い、地域住民による支え合いの体制づくりに取り組んでいる。

生活支援・介護予防の取組は。  
高齢者福祉課長

生活支援コーデイネーターが生活支援を推進している。介護予防については各町の「ミニコミュニティカフェ」の運営を支援する。

介護人材の確保は。  
高齢者福祉課長

介護職の魅力発信するキャリア教育等の実施を検討。



▲コミュニティカフェの様子 (おおの健康づくり教室)

\*協議体…地域に支え合いの輪を広げていくために、地域住民同士で話し合う場。





おの じゅんいち  
質問者/小野 順一 議員  
(政友会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

**問** 過疎地域の防犯対策は

**答** 既存の取組を強化していきたい

**問** 防犯カメラの設置要望があるが、対応は。

**総務企画統括理事**  
「地域の目」機能の代替となりうる防犯カメラの設置については、大分県警察本部が実施している自治会等を対象とした「街頭防犯カメラ設置支援事業費補助金」を紹介している。

**問** 補助対象者について。

**総務企画統括理事**  
地域の防犯活動に取り組みとする自治組織・学校PTA・組合または団体となっている。

**問** 補助対象経費について。

**総務企画統括理事**  
防犯カメラの購入及び設置に係る費用、防犯

カメラの設置を示すプレート等の購入及び設置に係る費用となっている。

**問** 補助率について。

**総務企画統括理事**  
補助対象経費の2分の1で、上限額20万円となっている。

**問** プライバシーに関する留意事項等について。

**総務企画統括理事**  
大分県が定める「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」に基づいた、「防犯カメラ設置・運用要領」を各団体で定めなければならない。

そして、誰にでも分かるように、撮影対象区域内、又は付近の見やすい場所に防犯カメラを設置していること、及び設置者の名称を表示しなければならない。



▲防犯カメラ(イメージ)

**問** 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)の取組について

**答** 今後も窓口DXの推進に取り組む

**問** マイナンバーカードを活用したオンライン申請の推進について。

**総務企画統括理事**  
申請可能な業務の拡大を図っており、これまでの導入実績として、子育てや住まい、税、高齢者介護、防災等、50の申請手続きがオンラインにより可能となった。なお、令和6年度から、フレジックト決済による各証明書等発行手数料の徴収機能の追加等、窓口に来なくても申請が可能となる仕組みの導入を計画している。

**水道事業について**

**問** 基幹的な水道管のうち耐震性のある管路の取組について。

割合、浄水施設・配水池の耐震化の状況と今後の取組について。

**産業建設統括理事**

基幹管路の耐震適合率は、48.5%、浄水施設、配水池の耐震化率は、それぞれ34.7%、21.7%となっている。次の事業計画には施設の耐震化計画を盛り込み、耐震化を積極的に進めていく。



▲大原配水池(三重町赤嶺)

\*配水池…消毒が完了した浄水を配水する前に一時的に蓄えておく施設。

**児童生徒の視力低下について**

**問** 裸眼視力が1.0未満の割合は小中高生いずれの段階でも過去最多の結果が出ている。本市の現状と対応策は。

**学校教育課長**

視力検査結果の通知や保健だよりを通じて、視力低下を防ぐ内容を掲載し注意喚起をしている。

**問** 椎茸原木供給とテントサウナ用薪供給事業について

**答** 引き続き、伐採後の椎茸原木や薪の利活用に取り組む

**問** 大径木化したクヌギを本市ならではの方法として、椎茸に使える所は原木として使用、大きすぎる所は薪としてテントサウナに利用する事業は成り立たないか。

**農林整備課長**  
令和2年度から森林環境譲与税を利用し、大径木化したクヌギ林の伐採による森林整備とクヌギ林の再生化に取り組んでいる。

**問** テントサウナに使う薪は市内の団体からも提供を受けているが、到底足りないというところ。サウナのまち宣言をしながら薪を他市から輸入している。椎茸原木の供給と合わせることで薪の自給にもつながるのでは。

**農林整備課長**

ロッジきよかわでは林研グループを通してクヌギの薪を供給している。

**問** 椎茸の種駒を3万以上たなければ補助金は受けられない。単純に原木供給をする、薪供給事業をするにしてもここがネックになっている。

**農林整備課長**

椎茸生産をはじめれば補助があるが、薪供給事業にはない。農林整備課としては、現在森林整備を目的とした事業で大径木化したクヌギの伐採をしている。伐採後の副産物として活用し椎茸生産とサウナ事業に活用していく。



▲なばサウナ(ロッジきよかわ)

\*林研グループ…林業経営にかかわる学習・研究活動・共同事業などを行うグループ。



くどう ひでのり  
質問者/工藤 秀典 議員  
(新政会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます





質問者／**額 英治** 議員  
(新政会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

**問** 本市農政について

**答** 第4次農業振興計画により、  
着実に推進している

**問** 大型特殊・けん引(農耕車限定)運転技能研修の強化取り組みは。

**答** 本年度、民間の自動車学校での免許取得補助金(経費の2分の1)を予算化したが申込者(希望者 大型特殊111人、けん引64人)は現時点ではない。7月中に対象要件の緩和等、県に要請する予定。

**問** 大分県が策定した「病害虫の総合防除計画」により期待できる農家への影響は。

**答** 都道府県が策定する総合防除の実施計画で、農家に負担や事務を強いるものではない。



▲農地利用最適化推進委員のパトロールの様子

**問** 地域計画の策定状況は。

**答** 農業経営基盤強化促進法が改正され、令和7年3月末までに将来の農地利用の姿を明確化した地域計画を策定することとなった。7月の千歳町を皮切りに各町で「協議の場」を開催し、年度末までに目標地図を含む地域計画を本市1計画で策定する予定で取り組みを進めている。



質問者／**衛藤 竜哉** 議員  
(無党派)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

**問** デスティネーションキャンペーンの成果は

**答** たいへん好評なものが多かった

**問** 4月から6月まで、JR九州大型誘客企画(「デスティネーションキャンペーン」)が開かれた。市内での観光者等の動き反響をどのように感じているのか伺う。

**答** 商工観光課長  
サウナのまち関連イベントやジオの文化的景観やジオサイトを巡るツアーなど多くのお客様に楽しんでいただけたと認識している。

消防団員確保について

**問** 豊後大野市の消防体制は、消防本部87人、消防団905人。  
消防団員数の確保が更に厳しくなると予想される。消防団の運営は大丈夫なのか。

**答** 消防課長  
現在、全国的に消防団員の確保が困難な状況。本市では広報活動や処遇の改善に取り組み、将来の人材育成につながる、ジュニア消防クラブを結成する。

今後、消防団の充実強化に努める。

生活道路の安全性を目指して

**問** 通学路等にグリーンベルト等の安全性を高める取り組み強化が必要と感じる。

**答** 建設課長  
「ゾーン30」という速度規制の設置をすすめては。

今後、自治会からの要望に応じて、整備を進める。

「ゾーン30」についても相談や要望があれば、警察や関係機関と協議しながら安全安心な生活道路の対策に取り組む。



▲ゾーン30

\*ゾーン30…区域(ゾーン)を定めて時速30キロの速度規制の実施と車の走行速度や通り抜けを抑制する。



質問者／**春野 慶司** 議員  
(れいめい会)



議員の一般質問の様子が  
ご覧いただけます

**問** 火葬場の残骨灰の売渡しにかかる一般競争入札の導入について

**答** 本市にとってより最善な方法を選択できるよう努める

**問** この質問を初めてした時から大分市ではすでに2回実施した。令和5年6月と6年5月である。この間に豊後大野市が2回実施していれば得られたであろう逸失利益は軽く1千万円は下らないと考える。

**答** 大分市が3回目を実施(令和7年5月頃)するまでには豊後大野市も実施できるのか。入札といても年に1回実施するだけで、一般競争入札を実施したからといって業者の仕事内容が変わるわけでもない。なぜ実施までにこんなに時間がかかるのか理解できない。いたずらに引き伸ばしていること。逸失利益の計算が大分市の例などから容易に算定できることから住民監査されてもおかしくない案件と考える。住民監査請求

をされる前にどうか実施してほしい。

環境衛生課長

本市では昨年度「残骨灰」の取扱いに関するアンケート調査を行った。それによると「売却は好ましくない」という回答は9.6%であった。

現在、野津町区域を対象にアンケート調査中であるので、その結果を待って臼杵市との協議を行い最善な選択をする。



▲三重葬斎場(三重町管生)





はらだ けんぞう 議員  
原田 健蔵 議員  
(れいめい会)



議員の一般質問の様子がご覧いただけます

### 問 人口減少対策について

地域と連携した移住環境の醸成に取り組んでいる

### 問 人的支援による就業斡旋・紹介は。

総務企画統括理事

本市では、大分労働局、公共職業安定所と雇用の改善に連携して取り組み、三重総合高校の生徒、保護者を対象に「地場企業合同説明会」を毎年開催し、就業機会の確保、地元就職への機運醸成に努力。

関係人口交流拠点施設「coccomio」では、創業セミナーやイベント等相談業務を実施。令和5年度実績は、新規事業創出数・施設利用者数・創業セミナー参加者数・相談件数とも目標指数を上回っている。

新規就農者の確保育成が目的のインキュベーションファーム事業では、2年間の研修期間中

に、毎月、関係機関と定例会を開催、研修後は、給付金など各種制度の手続の継続支援や収納状況報告を基に経営状況と課題を把握し、助言指導を実施。



▲三重総合高校で開催された地場企業合同説明会の様子

### 問 空き家バンク制度の充実と住宅造成・水道施設の拡充は。

総務課長

この制度は、費用の一部を助成する制度を設け、宅地建物流通センターと連携し推進、これまで364件の物件登録があり、247件の成約実績である。市有地の住宅団地化と水道施設の拡充については、現時点では具体的な計画はない。

議会で上程された議案は、各常任委員会(総務・厚生文教・産業建設)に付託されそれぞれ審査されました。

## 委員会審査報告

### 主な議案の審査結果

#### 新興感染症に対応すべく簡易陰圧装置を取得。豊後大野市民病院



▲病室内部の気圧を外部より低く保ち病原体の拡散を防止する目的で設置

■病院事業特別会計  
補正予算(第1号)  
重要な資産の取得は、簡易陰圧装置を追加する。今後、新興感染症が発生した際に、患者の受入れを行う医療機関として、今年度中に県と医療措置協定を結ぶことになりました。協定を結ぶにあたり、国の補助金を活用し、感染対策に必要な施設や設備を新たに整備します。

#### 2度の入札不調を経て、2億4,937万円で落札者が決定。



▲三重町久田と清川町伏野の中津無礼川に架ける橋梁上部工架設工事

■工事請負契約の締結について  
工事名 市道久原柳瀬・伏野新田線橋梁上部工架設工事  
契約の相手方 極東興和株式会社 大分営業所

#### 東分署水槽付消防ポンプ車は公売。

### 総務常任委員会

#### 財産の取得について

消防本部東分署に配備している水槽付消防ポンプ自動車を更新するもので、契約の相手方は大分市の「株式会社消防防災大分本店」、契約の方法は指名競争入札、購入金額は7,953万円です。

#### 工事請負契約の締結について

今年度と来年度の2カ年で実施する、ケーブルテレビ通信機器を現在の1GBから10GBに変更、更新するための工事に係る契約を締結するものです。一般競争入札、総合評価により5億2,250万円、「株式会社九電工大分支店」を落札者として決定しました。

■公売とする考えを持っていきます。

■問 問 ともとも10GBを使う人はいるのか。

【付託案件の審査結果】 議案5件、請願1件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきものとしました。

■答 本市においては約67の事業所等が10GBを利用すると見込んでいます。

#### 地元の要望により、道路改良。

### 産業建設常任委員会

#### 市道路線廃止について

市道1路線、現道の木浦内線(大野町)を廃止し、現在、山中を通る路線に改良計画をしており、財源として「社会資本整備総合交付金」を利用するに

は、その路線を道路法上先行して議会議決が必要のため廃止と認定を上程しました。

#### 問 改良部分について、どのような改良が必要なのか。

■答 新規の改良延長は270mで、地区より要望がありましたが、地区内の道路の拡幅を検討しましたが、既存の建物が干渉するなど、予算がかかりすぎるため、今回計画の田んぼを通り、山側を通すルートの方が、経済的になるとの理由



▲木浦内2号線(一部)

■問 改良工事の財源内訳はどうなっているのか。

■答 国の補助金「社会資本整備総合交付金」が61.6%で、残りは単費か、起債かで賄う予算配分を考えています。

#### 【付託案件の審査結果】

議案3件、請願1件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきものとしました。

\*社会資本整備総合交付金…インフラの整備に関する事業等の実施に要する経費に充てるため、国が交付する交付金。

#### 一人配置は限定的、問題はない。

### 厚生文教常任委員会

■豊後大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

放課後児童クラブに置く放課後児童支援員の数の基準を変更し、本市独自の基準を明確に規定しました。

#### 問 市独自の基準である放課後児童支援員の一人配置を認めることにより、児童の安全性の確保に影響はないのか。

■答 1人配置は、人数が少ない時間帯及び土曜の運用に限ってであり、児童の活動範囲を限定し、緊急時の連絡体制をしっかりと取れるよう整備します。



▲包括支援センター(市役所1階)

■答 豊後大野市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部改正について

【付託案件の審査結果】 議案3件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきものとしました。



各議員の議案に対する賛否の状況(令和6年第2回定例会)																		
※○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席 除=除斥 田嶋栄一議員は議長職のため表決権はありません。																		
議案名	議決年月日	議決結果	新政会				れいめい会			緑政会		政友会		創生会		無会派		
			穴見 眞児	吉藤 里美	嶺 英治	後藤 雅克	高野 辰代	工藤 秀典	原田 健蔵	春野 慶司	佐藤 昭生	首藤 正光	川野 優治	沓掛 義範	小野 順一	佐藤 辰己	赤峰 映洋	衛藤 竜哉
<b>条例の一部改正等</b>																		
豊後大野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部改正について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市営住宅条例及び豊後大野市体育施設条例の一部改正について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市議会議員定数条例の一部改正について	6月20日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>一般</b>																		
他の普通地方公共団体の公の施設を豊後大野市の住民の利用に供させることに関する協議について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の廃止について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>補正予算</b>																		
令和6年度豊後大野市一般会計補正予算(第1号)	6月20日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度豊後大野市一般会計補正予算(第2号)	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和6年度豊後大野市病院事業特別会計補正予算(第1号)	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>請願・意見書</b>																		
地方財政の充実・強化を求める意見書について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2024年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書について	7月9日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2024年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書採択の請願

【請願者】連合大分南部地域協議会  
【紹介議員】原田 健蔵  
【請願趣旨(一部)】



円安やロシアのウクライナ侵攻長期化による原材料費等の物価高騰により、地元中小企業や小規模事業者も厳しい経営状況に晒されている中、雇い主との交渉の場さえ持てない未組織労働者にとって、まさに最低賃金制度は「暮らしを支える生命線」。最賃制度の更なる継続と地元零細企業保護のため3項目について要望します。

2024年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書を可決し、国の関係機関へ意見書を送付しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願

【請願者】大分県地方自治研究センター  
【紹介議員】高野 辰代  
【請願趣旨(一部)】



来年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準の確保から一歩踏み出し、日本全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財政を実現するよう10項目について要望します。

地方財政の充実・強化を求める意見書を可決し、国の関係機関へ意見書を送付しました。

自治体の人口減少対策は限界なのか。

総務常任委員会行政視察 4/24~25

山口県美祿市、山口市に総務常任委員会5名で行政視察を行いました。

美祿市ですが、山口県の中央部に位置し、「Mine 秋吉台ジオパーク」もあり、海に面していない点、人口・面積・高齢化率ともに、本市と同規模の自治体です。

美祿市の「人口減少対策の取り組み」は、  
・三市合同婚活事業  
・結婚新生活支援事業  
・関係人口創出、  
・空き家DIY 拡大事業  
・体験ツアー  
・お試し住宅の整備  
・マイホーム取得  
・お試し移住への支援  
・空き家バンク制度、等  
本市と予算の違いはあれ、同様の取組をされています。



山口県美祿市視察の様子

「台東区との相互メリットの構築」

東京都台東区訪問行政視察 5/23~24

東京都台東区とは、朝地町出身の彫塑家朝倉文夫を縁に、友好都市協定を締結している。台東区の新人議員は、豊後大野市に訪れていることから本年度より、議会の制度運営等に関する意見交換・調査研究を行うために、隔年で行政視察を実施することとなった。

今回の視察は、議長他、各委員長計8名が訪問団となった。

意見交換会では「台東区と豊後大野市の相互メリットの構築」について議論した。

その中で、森林の少ない都会では、活用が難しい森林環境譲与税の活用案について提案した。

その内容は、台東区の森林環境譲与税を財源とし、台東区の子どもに豊後大野市にお越しただき、実際に自然に触れる中で、森林や木の持つ役割や大切さなど学んでもらうということ。親しみやすい交流を行うことで、次世代の方にお互いの魅力を知っていただく良い機会となるという共通認識が持てたことは大きな成果である。



東京都台東区議会訪問の様子



農業を取り巻く生の声を聴けた意見交換会

認定農業者連絡協議会と産業建設常任委員会との意見交換会

5月20日、認定農業者連絡協議会と産業建設常任委員会との意見交換会が開催されました。

「農業を取り巻く環境整備について」

本市の重要な課題について、充実した意見交換を行いました。以下、主な意見の内容です。

◆就農者支援について

意見 就農者用空き家バンクの充実を切望。農業をしたい人はいるが、家は家がない。企業誘致同様、本腰を入れて取り組んでもらいたい。

旧大恩寺小学校跡地を就農者限定の住宅地として地域農業の担い手対策のため低価格で斡旋を要望。インキュベーションファームでは県外からも募集しているが、2年後の卒業以降の住む場所が無いという意見をよく聞く。

安価な土地の提供に

よるローコスト一軒家住宅支援も必要。新規就農者に対して総合的に新しい農家を育成していくという観点から「儲かる農家をめざす政策が必要」。

住居や農地の確保、その家族構成に見合った医療、学費の免除制度の創設も併せて考えるべきではないか。

◆鳥獣害対策について  
意見 猟友会の高齢化に伴って、人手不足で被害が増えており、当初張った獣害ネットが機能しておらず管理不足の面もある。

◆水稲中心の土地利用型農業の推進について  
意見 水田活用による直接支払交付金が見直され、令和9年度以降、5年連続して作付なしの農地は補助金除外となり、厳しい状況となる。本市独自の取組みはできないか。

◆就農者のための水稲栽培研修プログラム作成による水田利用拡大による荒廃防止が有効。

新規就農者に向けた水稲栽培研修プログラム作成による水田利用拡大による荒廃防止が有効。



▲意見交換会の様子

永年在職議員表彰

第100回全国市議会議長会定期総会において、本市の議員が、永年の市政振興への功績を称えられ、20年以上在職議員表彰を受賞しました。

20年以上在職議員表彰  
首藤 正光 議員



三重町議会議員 1期  
豊後大野市市議会議員 5期

議会日誌

4月	5月	6月
2日(火)・第19回議会広報編集特別委員会	9日(木)・第10回議会運営委員会	13日(木)・第11回議会運営委員会
4日(木)・第20回議会広報編集特別委員会	16日(木)・第1回臨時会	14日(金)・第22回議会広報編集特別委員会
9日(火)・産業建設常任委員会	20日(月)・認定農業者連絡協議会と産業建設常任委員会との意見交換会	・第2回定例会議案学習会
11日(木)・第21回議会広報編集特別委員会	・第13回議会活性化委員会	17日(月)・第12回議会運営委員会
18日(木)・第9回議会運営委員会	23日(木)・東京都台東区議会表敬訪問	20日(木)・第2回定例会開会
22日(月)・第12回議会活性化委員会	24日(金)・東京都台東区議会表敬訪問	26日(水)・本会議(一般質問)
24日(水)・総務常任委員会行政視察(山口県美祢市)		27日(木)・本会議(一般質問)
25日(木)・総務常任委員会行政視察(山口県山口市)		


「豊後大野市商工会青年部」役員インタビュー

ぶんごおの 次世代リーダー特集

7/5に豊後大野市商工会にて、豊後大野市商工会青年部の役員会が開催されましたので、この街の将来を担っていく若きリーダーの皆さまにインタビューをさせていただきました。


Q1…営んでいる業種はなんですか? / Q2…現在の課題は? / Q3…今後の目標と自己PRなど

**会長 水野 幸太郎さん(緒方町)**




- ①墓石加工、販売
- ②仕事量が減っている。増やす活動をする。商工会部員増強運動。
- ③豊後大野市商工会青年部を一つにする。

**川野 晃裕さん(三重町)**




- ①葬祭業、他
- ②新規事業への挑戦と人の教育・仕組化、効率化。
- ③より良いお別れができる環境を大分県下で拡げ、豊かな人生を送れる人々を増やすお手伝いをしたい。頑張ります。

**東 和毅さん(三重町)**



- ①人材業
- ②役員育成
- ③億企業を豊後大野から作る。日本だけでなく、アジアそして世界に目を向けて会社を作る。

**佐々木 大亮さん(清川町)**




- ①小売業
- ②需要の停滞
- ③常に地域密着 異業種との連携

**田島 啓佑さん(緒方町)**



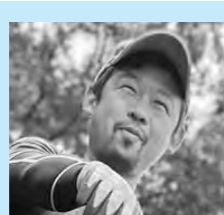
- ①農業
- ②法人化に向けて
- ③農業の収入向上、作業効率の向上、人材確保。

**田部 智好さん(朝地町)**



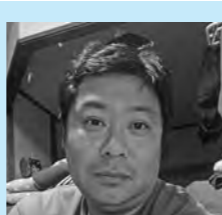
- ①農機具販売修理
- ②顧客を増やす
- ③自社では販売だけではなくアフターサービスを一番に考えお客様と末永くお付き合いできるように取り組んでいます！

**衛藤 竜誠さん(大野町)**




- ①農業(アスパラガス、白ネギ)
- ②品質の安定
- ③栽培管理、出荷調整作業の効率化。

**衛藤 正太郎さん(大野町)**



- ①建設業
- ②若い世代に興味を持ってもらう
- ③これからの子ども達に残る事や物を作りたいです。

**帆足 亮一郎さん(千歳町)**

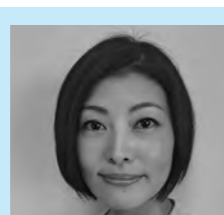


- ①建設業
- ②資材などの価格高騰
- ③発展



豊後大野市商工会青年部に、今後ともご期待下さい!

**宮迫 奈緒美さん(犬飼町)**



- ①クリーニング業・福祉
- ②社員教育
- ③社員が主役になれる会社をめざしている。大分県の観光業界を支えるお仕事です。





# 豊後大野市議会だより モニターアンケートの結果報告

豊後大野市議会では、市民の皆さまと議会の結びつきを深め、議会だよりのより一層の充実を図るため、議会だよりへの提言やご意見を伺いする「議会だよりモニター」を1年間試験的に導入しました。10名の市民よりモニターにご応募いただきました。

早速、第85号（令和6年5月1日発行）より、議会だよりについてのご意見をいただきました。今回は、初回とすることで、「議会だよりモニター」よりいただきました貴重なご意見を紹介します。今後の紙面作成の参考にさせていただきます。

ご協力いただきましたモニターの皆様に、心より感謝申し上げます。

## ■分かりにくい言葉の主なご意見

\*Pは第85号(2024.5)のページ数です

- 2P…(当初予算) 減債基金、定額運用基金
- 3P…(当初予算) 修正動議の「動議」という言葉
- 4P…(予算審査) 関係人口・サイクリングハブ
- 11P…(一般質問) 「相談が上がってくる」は、ただ上がるだけなのか、そのあとはどうするのか分からない。
- 12P…(一般質問) 「第4ステージ」とは、具体的に何を指すのか。
- 15P…(一般質問) 「23の協定」とは、何なのか。
- 18P…(議会の年間サイクル) 「分科会」とは、何なのか。
- 19P…(議会の年間サイクル) 「進捗」→進み具合等の言い換えはできないか。
- 21P…(市民と議会の意見交換会) 基準額は国が定める児童数よりなぜ多くても少なくても減額されるのか。
- 22P…(議員定数・報酬) 「諮問」→意見を求める等の簡易な表現にできないか。

\*用語の説明に関しては、今後集約して掲載していきます。

## 質問③ 今回の議会だよりの中で、一番関心のあったページとその理由の主なご意見。

- 4・5P (当初予算審査) ・朝倉文夫記念館、広くて美しい敷地。でも年間4つのイベントしかありません。いつ行っても誰もいないもったいない、もったいない。大野町のサイクリングハブもいつも同じ、もったいない。
- 10～17P(一般質問) ・各議員の主義主張、政治信条と、その議員を当選せしめた有権者の質を推し量る事ができるため。  
・一般質問です。どの議員が、どんな質問をしているのか関心があります。
- 20P (市民と議会の意見交換会) ・市民の皆さんの生の声が紹介されているため。
- 23P (人口減少対策) ・人口減少すると公務員以外の人は直接被害を受けます。私ら商売人はとくにです。人口が減れば店も減ります。公と民の差が大きいと思います。よろしくをお願いします。

## 質問④ 自由にご意見・ご要望・疑問などを記入いただいた主なご意見。

- \* 議会だよりとても分かりやすく良かったです。R6年度予算P2～P3の件ですが、市債残高合計307億8,000万円にビックリ。今年度、公債費29億8,400万円返済するとなっているが、市債を53億7,600万円借入れしたら市債が増えるばかり、豊後大野市は破綻してしまいます。そうならないように議員の皆様宜しくお願いします。(60代 女性)
- \* 人口減少対策特別委員会の設置は、とても良いことだと思いました。ぜひ議会の力で人口減少を止められるように頑張ってください。防災に関し議会でも議論されていますが、女性防災士の数を増やした方が良いと感じます。男性主体の避難所では女性の視点が欠けています。また、ペットのいる家庭、高齢者の避難も課題だと思います。議会での議論に期待します。今回の議会だよりは良かったと思います。(60代男性)
- \* センセーショナルな見出しや煌びやかな見栄えの追求に注力するのではなく、議会と有権者が共に成長出来るような紙面作りに邁進してほしいと思います。(40代男性)

## 質問① 今回の議会だよりはどのくらい読まれましたか。

読み程度	1時間以上	30分～1時間	10分～30分	10分未満
総数10	5	3	2	0

## 質問② 議会だより全体の評価の欄に○を付けて下さい。

### ◆企画・構成・デザイン◆

主な項目	評価			
	多い	ちょうどよい	少ない	
ページ数	1	8	0	
色使い	とても良い	良い	ふつう	悪い
	2	5	3	0
図表・グラフの使用	とても良い	良い	ふつう	悪い
	2	4	3	1

### 主なご意見 (青字は、広報編集委員会からの回答)

- ・必要に応じてページ数の増減があっても良い。  
→今回は、通常より4P減らしています。
- ・印刷コストを考えると、現状が精一杯なんだと思います。
- ・2・3Pの歳入歳出の部分については、グラフ化した方が見やすいと思います。  
→市報に円グラフが掲載されているので、あえて実数字と割合で表示しました。

主な項目	評価			
	多い	ちょうどよい	少ない	
文字の量	4	5	0	
用語は分かりましたか	分かりやすい	ふつう	分からない	
	5	3	0	
見出しのセンス(ページ上段のタイトル等)	とても良い	良い	ふつう	悪い
	3	4	2	0

### 主なご意見 (青字は、広報編集委員会からの回答)

- ・伝えたいという熱意は理解できるがもう少し工夫がほしい。  
→引き続き研究します。
- ・文字が大きくても良いと思う。  
→前回より文字の大きさを統一したところなので、もう少し様子をみたいと思います。
- ・誰にもわかるように用語の言い換え等を考えてほしい。
- ・わかるけど補足をつけても良い所がある。  
→検討していきたいと思っています。



## 児童・生徒の思いを紹介

### みんながなかよし百枝小学校

私たちの百枝小学校にはなかよし班があります。なかよし班は、全校を6つに分けて作られた班です。

なかよし班のよさは学年に関係なく、みんなが仲良くなれることです。普段あまり関わらない学年と一緒に活動することで仲良くなれます。また、毎年班が変わるので多くの友だちを作ることができます。

次になかよし班の主な活動を紹介します。

1つ目はサマーフェスティバルです。班で1つの遊びを協力して準備し、運営します。準備では、高学年が低学年に教え、本番では班の友だちとお店を運営したり遊びに回ったりすることでより仲が深まります。

2つ目はなかよし班掃除です。普段掃除をしないところを月1回掃除します。雑巾の使い方やほうきでのほき方を教えることができ、より綺麗な百枝小学校を実現することができます。

このような伝統的取り組みを通して、みんながなかよしの百枝小学校にしていきます。



百枝小学校6年

ふくしま 福島 ひまり(左)  
かわの 河野 ここね 心音(右)

### 編集後記

第2回定例会が例年に比べ遅く閉会したため、今回の議会だよりはひと月遅れの発行となりました。  
長月に入り、暦の上では秋の夜長、草木が衰えゆく季節ですが、近年は残暑も厳しく台風などの自然災害への備えも必要になります。市内各地では水稲の登熟も進み、無事に収穫(し)が始まり、反収が増えることを期待しています。(後藤)

### 綱がる All Hands

大野小中学校中学部の生徒会テーマは「つながる」です。

このテーマには地域の方や小学部の児童の方とつながりたいという思いが込められています。

5月に中学部では体育大会が行われました。体育大会では毎年、生徒会が企画する競技があります。今年は“綱がるAll Hands”という競技名で綱引きを行いました。この競技では会場にいる人に参加してもらいました。たくさんの人と綱引きをすることで当日はみんなと「つながり」を持つことができました。

また、生徒会では今年から新聞を作っています。どうすれば地域の人とつながることができるのかを考え、その取り組みとして地域の人向けの新聞を作ることを決めました。中学部のことをたくさんの人に知ってもらうために学校で行った行事や取り組んでいることなどを記事にし、大野町の回覧板に挟んでもらっています。

これからも生徒会を通してたくさんの人とつながれるような新しい活動を企画していきたいです。



大野小中学校9年

さい あんな 城井 杏菜

### 議会を傍聴してみませんか？

次回9月定例会は、  
9月2日に開会予定です。

第87号は、12月1日発行予定です。

### 広報編集特別委員会

委員長	高野 辰代
副委員長	工藤 秀典
委員	小野 順一
委員	後藤 雅克
委員	原田 健蔵
委員	川野 辰徳



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。